



2023年7月11日

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

女子委員会

**第43回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ東京都予選会
大会要項**

- 1 **大会名称** 第43回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ東京都予選会
- 2 **主催** 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
- 3 **期間** 2023年8月6日(日)～8月27日(日)
- 4 **会場** ダイドードリンコアイスアリーナ
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-7171
- 5 **大会事務局** 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel: 042-467-8282 Fax: 042-468-2131 E-mail: tihf@tihf.gr.jp
- 6 **参加チーム** 日本体育大学、東京女子体育大学、シルバーシールズ
- 7 **参加資格** 1) 選手およびスタッフは、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録している。東京都アイスホッケー連盟所属の女子チームに登録している。
2) 出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手については各チームで保護者の承諾を得る。
- 8 **組合せ** 別紙参照
- 9 **選手登録** 大会参加申込み期限[2023年6月30日(金)]までに登録が完了していること。
- 10 **代表者会議** 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
- 11 **参加申込み** 以下を①女子委員会委員長②副委員長③連盟事務局宛に E-mail にて送付する。(同じメールに3つの宛先を指定すること)
1) **2023年6月30日(金)までに**
(1) 指定の参加申込書(Excel、押印省略可。PDF 変換不可)
2) **2023年7月20日(木)までに**
(2) スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF)
- 12 **大会費** **106,000円**
内訳)
- | | |
|-------|----------|
| 大会参加費 | 16,000円 |
| 試合費 | 90,000円 |
| 計 | 106,000円 |
- 13 **振込み期限** **2023年7月20日(木)**
- 14 **振込先** 銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号 016)

口座名： 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
 ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ
口座番号： 0104277
預金種目： 普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

15 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下 JIHF)に帰属することとし、公衆送信権を公益財団法人東京都アイスホッケー連盟(以下 TIHF)に許諾することがある。
- 本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は本大会参加中の肖像の管理を JIHF および TIHF に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

16 その他

- 新型コロナウイルス感染症の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

17 キャンセル規定

- 試合を棄権したチームに返金はない。
- 一方のチームが試合を棄権する場合、対戦チームは、その時間帯を利用して、練習試合を組むか単独で練習を実施してください。
- 試合が中止となった場合は、リンクのキャンセル規定に基づき、返金を行う。

18 問い合わせ先・連絡先

公財)東京都アイスホッケー連盟女子委員会
(電話番号、E-mail アドレスは別途お知らせします)

競技要項

19 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム) × 3 ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)
- 仮ホームチーム(対戦表の左側)は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
試合前のパケットスにより、ホームチーム、ビジターチームを決定する。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 点差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) レフェリーの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後のフェイスオフでスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

20 順位決定方法

ポイント制とする。ポイントは以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上のポイント数が同数の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得たポイント数が多いチームを上位とする。
 - 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 3) 当該チーム間の試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
 - 4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 5) 全試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)
 - 6) 2022 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦において順位が上位であるチームを上位とする。
- チームが試合を棄権した時点で、当該チームは東京都代表選考の対象から除外する。
その他のチーム間の対戦成績により、代表を決定する。

21 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第 22 項)を除いて、原則として国際競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

22 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは速やかに、理由とともに 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで書面(E-mail)にて届出なければならない。試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、別に定める罰則規定により罰則を科す。ただし、新型コロナウイルスによる試合棄権の場合は、0 対 15 で不戦敗とし、罰則は科さない。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、指定のフォームを用い、試合開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は 6 名(ゴールキーパー1 名とスケーター5 名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については 22-1 項を参照)。両チームが最低人数に満たない場合は、両チームとも -15 点とし、両チームを不戦敗とする。
- 6) ベンチ入りは選手・スタッフ含めて最大 25 名までとする。ゴールキーパーは 2 名以内、スタッフは 6 名以内(最低 1 名)とする。
- 7) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指 1 本分のみとする。
- 10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームは完全にパンツの外側に出して着用する。
- 12) 「お守り」は、パンツ等の中に縫い付けること。防具の外側につけることはできない。
- 13) 原則として、頭髪はヘルメットの中に収める。
- 14) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
 - 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。

- 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。
- 15) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。
 - 16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。
 - 17) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1名、ラインズパーソン2名を派遣する
 - 18) ビデオサポートシステムを採用する(ゴール裏のカメラ1台)。ただし、コーチチャレンジは採用しない。チームからのアピールで確認することはない。

<コロナウイルス対応>

- 18) パクトスは、ソーシャルディスタンスを保ち行う。
- 19) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- 20) 試合時の握手は行わない(選手、スタッフ、レフェリー、競技役員)。
- 21) ベンチ内において、スタッフは、飛沫飛散防止のための不織布マスクを正しく着用する。
- 22) ドリンクボトル、タオルは共有しない。
- 23) ペナルティボックス内の選手は、相手チームの得点時、自らドアを開けて出ていく。
- 24) 試合中断時、バックに触れない。ゴールキーパーはキャッチしたらリンク上に置く。
- 25) インターミッション中は氷上でのミーティングは可とするが、氷上での水分補給は禁止、ベンチ内で行う。

23 罰則規定

- 1) 試合に遅刻、欠席、欠員、棄権した場合や、連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。
- 2) 新型コロナウイルス以外のいかなる理由でも棄権した場合は、相手チームの試合費を負担する。

24 保険の加入

- 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書と加入者明細のPDFを提出する。大会要項11項を参照)。
- 選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

25 試合中の負傷・傷害

- 試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。
- 選手の負傷について、チームは「[傷病報告書](#)」にて公財)東京都アイスホッケー連盟に届ける。

26 コロナウイルス対応の特別ルール

- 1) 選手・スタッフの近親者・学校・勤務先等に感染者が発生した場合は、速やかにチーム代表者より、女子委員会に連絡する。
- 2) 施設関連：
 - 入退場については、指定された時間に、指定された出入り口を使用する。
 - 施設に入る際は、リンクの指示に従い手指消毒を実施し検温を受ける。
 - 控室では不織布マスクを着用する。
 - ゴミはリンクの指示に従う。ゴミ箱の設置がある場合は分別して捨てる。ゴミ箱の設置が無い場合はチームで持ち帰る。試合後、ベンチ内や更衣室にゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。

27 IIHF 改正新ルールの適用

- 本リーグ戦では、2021-2022 IIHF アイスホッケー国際競技規則を適用する。ただし、「第 27 条 ゴールキーパーのペナルティ(制限エリア)」および「第 38 条 コーチチャレンジ」は適用しない。
- 改正ルールについては、日本アイスホッケー連盟ウェブサイト掲載の資料を確認すること
https://www.iihf.or.jp/common/img/info/info_20211014_224434.pdf

* 社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。

* なんらかの事情で試合が中止となった場合、その時点で 2 勝(6 ポイント獲得)しているチームがあれば、当該チームが関東ブロック予選会への出場権を獲得する。